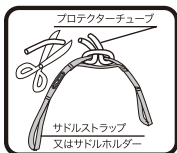
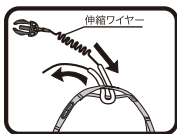


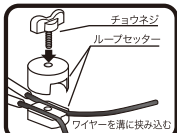
## 5-4 伸縮ワイヤー取付け方法



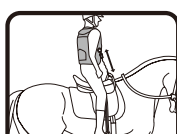
1 サドルストラップ(サドルホルダー)のワッペン面を上にし、中央部の輪部の上側にプロテクターチューブを巻き付けて長さを調節し、余った部分をカットします。



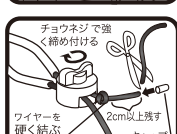
2 プロテクターチューブに伸縮ワイヤーを通す



3 プロテクターチューブから出たワイヤーをループセッターで仮留めし伸縮ワイヤーの長さを調節します



4 馬にまたがりスタンディングの状態、伸縮ワイヤーが伸びきった状態にして長さを決めます。

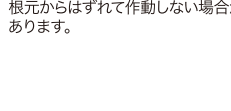
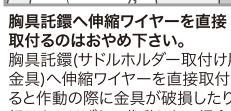
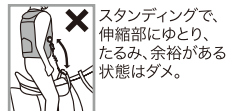
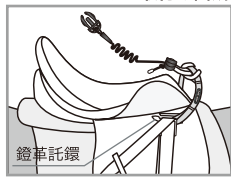


5 ループセッターでしっかり固定し、余ったワイヤーの根元を硬く結び、2cm以上残した状態でカットし、最後にワイヤー先端にキャップをします。



6 取付け完了

## サドルストラップ取付け箇所



## 4-3 キーボックス《Y型》

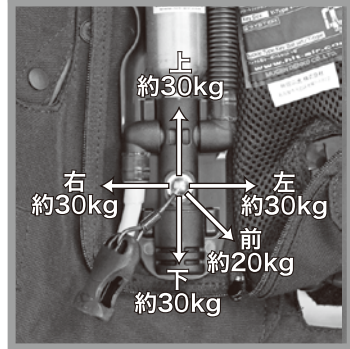
YKKと共同開発した小型キーボックス

(写真1)この装置は、通常約20kg~30kg程度で伸縮ワイヤーを引っ張る力により、キーボールが抜けて、キーボックス内に組み込んである圧縮バネが針と運動し、カートリッジポンベの封板に穴をあけてガスを送り、作動させます。着用時、前方からの方向から引っ張ってもキーボールが抜ける仕組みとなっています。

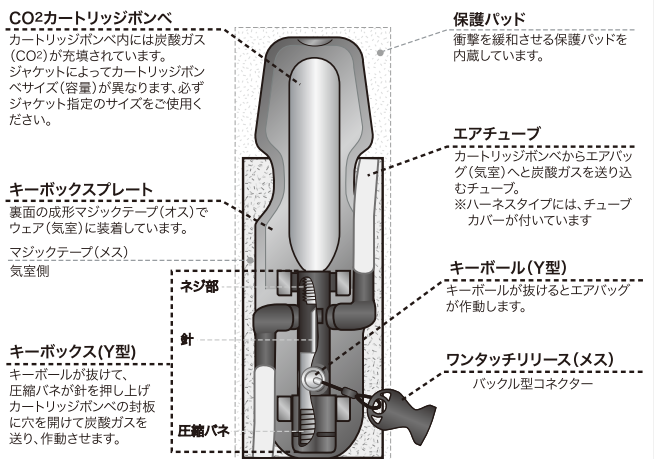
警告! 1. キーボックスを分解したり、部品をはずさないで下さい。

注意! 2. 通常時はカートリッジポンベを緩めたり外したりしないで下さい。外してしまった場合は、キーボックスの取付けネジ部分に根元までいっぱいねじ込んで下さい。

写真1



### キーボックス構造



19

17

12

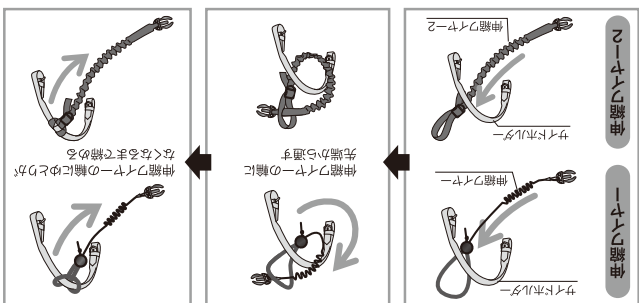
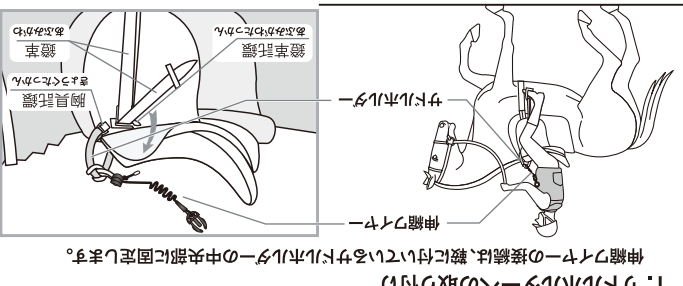
17

- 下記の注意事項を守ってください。破裂の危険性があります。
1. カートリッジポンベは、40℃以下で使用及び、保管して下さい。(高温となる車中などの保管はおやめください。)
  2. カートリッジポンベに強い衝撃を与えないで下さい。
  3. カートリッジポンベを加熱しないで下さい。
  4. カートリッジポンベの外面をサビさせないで下さい。サビ等が発生した場合は新しいものとお取り替え下さい。
  5. 使用済みのカートリッジポンベは刃が鋭いので取り扱いから廃棄して下さい。
  6. カートリッジポンベを切断したり、穴を開けるなどの行為はおやめ下さい。
  7. モデルによってカートリッジポンベのサイズ(容量)が異なります、交換の際は必ずモデル指定のサイズ(容量)をご使用下さい。
  8. レットエア以外の用途で使用しないで下さい。
  9. レットエア-製カートリッジポンベへ以外は使用できません。
  10. 子供の手の届かない所で使用、保管して下さい。
  11. 通常時(使用時)は、セットしたカートリッジポンベを回して緩めたり外したりしないで下さい。
  12. 再生作業等でカートリッジポンベを外した場合、カートリッジポンベをキーボックスに取付ける際、根元までいっぱいねじ込んで下さい。

## 4-6 CO2カートリッジポンベの取扱い

- カートリッジポンベ内には炭酸ガス(CO2)が充填されています。
- キーボックスよりキーボールが抜けた際に、圧縮バネが針と運動し、カートリッジポンベの底部(封印板)に穴を開けて、カートリッジポンベ内のガスを気室へ送り込みます。
- 一度作動(使用)したカートリッジポンベは使用できません。
- (使用済)カートリッジポンベは底部(封印板)に穴が開いていないか、未使用の新しいカートリッジポンベをお取り替え下さい。
- カートリッジポンベをキーボックスに取付ける際に、ねじ込みが足りないと針がカートリッジポンベの底部(封印板)に届かず、作動しない場合や、作動しエアーが膨らんでも教秒後に遅れてゆっくり膨らむ様な誤作動の原因になります。
- カートリッジポンベの取付けは、必ず根元までねじ込んで下さい。

## 5-3 伸縮ワイヤーの鞍への固定接続方法



1. 伸縮ワイヤーの接続が不完全の場合、伸縮ワイヤーが伸びきった状態で、その接続が外れてしまい作動しない恐れがあります。
2. 伸縮ワイヤーに異常(傷、ひび割れ等)が発生された場合は必ず新しいものにお取り替え下さい。(※当社指定以外の伸縮ワイヤーは使用しないで下さい。)
3. サドルホルダーにひび割れなどの劣化しているものは使用しないで下さい。
4. サドルホルダーが切れてエアーが漏れ作動しない恐れがあります。
5. 脚具託環に縛らなはらず、エアーが作動しない恐れがあります。
6. サドルホルダーが根元からはずれ、エアーが作動しない恐れがあります。
7. サドルホルダーの中央部に取付け付けても、固定箇所がないため左右にずれ作動が遅れる場合があります。
8. 脚具託環(サドルホルダー)取付け用金具へ伸縮ワイヤーを直接取付けると作動の際に金具が破損したり、根元からははずれてエアーが膨らまない場合があります。